

横浜市立瀬谷第二学校 令和3年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

| 学校教育目標 | 教育課程全体で育成を目指す資質・能力 |
|--------------------------|--------------------|
| 友情わく、力わく、希望わく、毎日わくわくする学校 | 自分づくりに関する力 |

(2) 中期取組目標

| 中期取組目標 |
|--|
| <p>○地域・保護者と協力し、自ら進んで行動し、毎日わくわくする学校を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペア学年活動や道徳教育を充実することで、主体性や規範意識を育てます。 ・個のニーズを把握し、それに応じた指導に努めます。 ・一人ひとりが自己有用感をもって楽しく学校生活を送れるようにします。 ・校内組織を生かした児童理解、児童指導に努めます。 ・健康安全に気をつけ体力増進を図ります。 ・地域や家庭の力を生かした教育活動に努めます。 ・学習の基礎基本が定着するよう、授業改善に努めます。 |

(3) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・具体的取組

| 重点取組分野 | 具体的取組 |
|--------|---|
| 健やかな体 | 一校一実践として「わくわく持久走」に代わって「わくわく外遊び」を行い、外遊びをする機会を多くする。また、長縄集会に向けて練習をし、体力向上を図る。お互いに誘い合いながら外に遊びへ出ることを推奨し、心身ともに健康で明るい生活を送れるようにする。健康安全の日の放送を通して健康に関心をもち、実践する意欲を育てる。学校保健委員会を行い、自分自身の生活について考える実践につなげる機会を設ける。また、各クラスでめあてを決め、達成するための取組内容や振り返る場を設定する。 |
| 担当 | 研究部 (体育) |

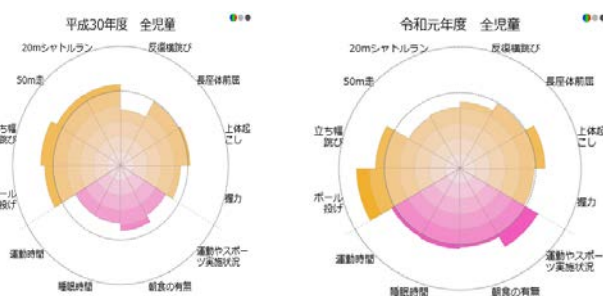
2 体育・健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態

昨年度は新体力テストを行っていないので、一昨年データを基にすると、朝食をとっている児童や運動時間、睡眠時間が市平均よりも増えている。毎日の運動時間についても市平均を超えているが、学校以外では体を動かさずと答えた児童と、そうでない児童との差がかなりある。

(2) 体力の概要と要因の分析

30年度、令和元年度の新体力テストの結果を見ると、横浜市の平均を下回っている項目がいくつかある。また、運動時間や睡眠時間、運動やスポーツ実施状況が著しく下回っている。



しかし、ソフトボール投げや立ち幅跳びなどは、横浜市の平均を上回るようになった。30年度よりも令和元年度の方が、運動能力が全体的に下がっているが、運動に関わる時間が長くなってきていることから、次年度以降は体力テストの数値が上がるのが予想される。

3 体育・健康に関する具体的取組

教科

《体育科での取組》

- ・体育科では、児童が運動の楽しさや喜びを実感し、運動の日常化につなげられるよう体育学習の充実を図る。
- ・自他の生命を尊重し、心身ともに健全な発達を図り、健康で安全な生活を営むことができるような態度、能力を養う。

《他教科での取組》

- ・家庭科では、食の大切さを考え、心身の健康のために食事が重要だということを理解する。

特別活動や領域等

《特別活動》

- ・保健安全委員会による、毎月の健康安全の日の放送から、学級で話し合い、振り返りをする活動。
- ・学校保健委員会による歯の健康についての取組からテーマに沿った具体的な取組内容を学級で話し合い、活動につなげる。

《領域等》

- ・新体力テスト、運動会、区水泳記録会、区球技交流会、特別陸上クラブ等
- ・学校保健委員会、健康安全の日の放送、発育測定等

課外活動

- ・健全な食生活を営む態度を育むために、給食の時間を活用し、栄養など食に関する指導を行う。
- ・学校保健委員会で歯の健康について、各学級が実践的に取り組めるようにテーマを設定する。
- ・新体力テストの結果等を共有し、家庭と連携を図るために、個人面談等を利用して保護者と話し合う。

令和3年度 瀬谷第二小学校 体力向上1校1実践運動

- 《名称》 わくわく外遊び
- 《ねらい》
- ・体を動かす心地よさを味わうとともに、体力を高める。
 - ・友達と運動をする楽しさを感じる。
- 《内容》
- ・中休みに2学年ずつ（低中高）が外遊びをする。
 - ・各学年年間6回。（運動会期間は行わない）